

公 示

2006年10月2日

学校法人立命館

理事長 川本八郎

総長候補者推薦委員会において次期総長の候補者が推薦されたので、学校法人立命館総長選任規程第12条にもとづき公示する。

記

1. 推薦の考え方

- ・ 人格、学識に優れ、教育行政に関する識見と力量を有する者で、学生の学びと成長の立場に立ち、立命館憲章の精神に則って学園創造を推進するリーダーシップを発揮する人物
- ・ 立命館をとりまく国際・国内情勢を的確にとらえ、世界に開かれたアジア太平洋地域の教育・研究拠点形成を目指す学園の計画を確実に推進する人物

2. 総長候補者氏名（五十音順）

川口 清史（かわぐち きよふみ）

久岡 康成（ひさおか やすなり）

平田 純一（ひらた じゅんいち）

3. 総長候補者経歴（五十音順）

川口 清史（61歳）

立命館大学政策科学部教授・博士（経済学・京都大学）

理事・評議員・政策科学部長・政策科学研究科長

【専門分野】

経済学（経済・社会システム、経済事情および政策学）

【所属学会】

国際第3セクター学会、国際公共経済学会、社会・経済システム学会

【現在の学外の学会等の役職】

国際公共経済学会理事

【本学園の役職暦】

1983年4月1日～1985年3月31日 学生部次長
1988年4月1日～1988年9月30日 調査・広報室副室長
1988年10月1日～1991年3月31日 調査・広報室長（調査企画室長）
1991年7月1日～1992年9月20日 政策科学部設置委員会事務局長
1994年4月1日～1995年3月31日 UBC - JP教務主任
1996年4月1日～1997年3月31日 政策科学部主事
1997年4月1日～1999年3月31日 政策科学研究科主事
2000年4月1日～2003年3月31日 教学部長
2003年4月1日～2004年3月31日 UBC - JP教務主任
2004年4月1日～現在

【推薦理由】

川口清史氏（以下、川口氏という）は、経済・社会システム、経済事情及び政策学を専門とし、博士（経済学・京都大学）を有する。

立命館学園での主な経歴は、1983年学生部次長、1988年調査・広報室長（後の調査企画室長）、1991年政策科学部設置委員会事務局長、2000年教学部長、そして2004年から政策科学部長・同研究科長、今日に至る。このように川口氏は、1980年代以降の立命館学園のダイナミックな改革の企画部門の重責にあり、第4次長期計画策定時には、調査企画室長としてBKC新展開に関する改革プランを指導的立場で策定した。また、UBC - JP教務主任を二度務め、国際的な教育研究活動に取り組んでいる。政策科学部ではその設置の中心的役割を果たし、現在6代目の学部長として学部改革の先頭に立っている。

川口氏は、教育研究業績において、また行政経験においてもその実績は豊富であり総長候補として推薦するにふさわしいものである。

久岡 康成（64歳）

立命館大学大学院法務研究科教授

法務室長

【専門分野】

法学（刑法・刑事訴訟法）

【所属学会】

日本刑法学会

【現在の学外の学会等の役職】

長岡京市法令遵守委員会委員長

【本学園の役職歴】

1993年4月1日～1994年3月31日 法学部調査委員長
1994年4月1日～1996年3月31日 理事・評議員・法学部長・法学研究科長
1997年4月1日～1998年3月31日 図書館長
2000年1月1日～2004年3月31日 常務理事（教学担当）・評議員
2004年4月1日～現在

【推薦理由】

久岡康成氏（以下、久岡氏という）は、刑法・刑事訴訟法を専門とする。久岡氏は、本学の法学部学生時代、現役で司法試験に合格した。

立命館学園での主な経歴は、1994年法学部長・法学研究科長、1997年図書館長、2000年に常務理事（教学担当）を歴任し、2004年からは立命館学園の初代法務室長を務め、今日に至っている。とりわけ、常務理事として、第5次長期計画以降の多様な教学改革を推進し、新世紀学園構想やその具体化である第1期基本計画の策定に尽力した。現在は法務室長として、立命館大学を始め立命館アジア太平洋大学や附属校も含めた学園全体の法務・裁判対策等司法関係の業務において主導的な役割を果たしている。また、応援団顧問や野球部長として立命館スポーツに貢献をしてきた。

久岡氏は、学部役職や全学役職を歴任し学内行政の経験は豊富であり、専門を生かした法学分野の研究業績とキャリアは総長候補として推薦するにふさわしいものである。

平田 純一（56歳）

立命館大学経済学部教授・Ph. D. in Economics
理事・評議員・経済学部長

【専門分野】

経済学（経済統計学、財政学・金融論）

【所属学会】

日本経済学会

【現在の学外の学会等の役職】

【本学園の役職歴】

1990年4月1日～1991年3月31日 二部教務主任
1992年4月1日～1993年3月31日 経済学部学生主事
1995年4月1日～1996年3月31日 経済学部主事
1996年4月1日～1997年3月31日 経済学部調査委員長

1998年4月1日～2002年3月31日 B K C社系研究機構長

2004年4月1日～現在

【推薦理由】

平田純一氏（以下、平田氏という）は、経済学（経済統計学、金融論）を専門とし、アメリカ（ニューヨーク州立大学バッファロー校）において大学院博士課程を修了し、Ph. D. を取得している。平田氏は、国際的な研究業績として、学位論文をベースとする貨幣需要理論に関する研究等を行った。

立命館学園での主な経歴は、1990年二部教務主任、1992年に経済学部学生主事、1995年学部主事を務め、1996年調査委員長、2004年経済学部長に就任、現在に至る。経済学部長として、2006年度設置の国際経済学科の開設に尽力し、高い実績を残した。また、全学的には1998年B K C社系研究機構の初代機構長としてB K C社系学部の産学連携推進の先頭に立った。

平田氏は、研究業績、教学改革に関する行政経験の実績は総長候補として推薦するにふさわしいものである。

以 上